

1. 主 イエ ス は 生 い
2. イ エ ス は 生 い
3. イ エ ス は 生 い
4. イ エ ス は 生 い

きとみら たきかのもわみな うにはき あ主よ がとイエわ などスキ いもにわ のにあれ 主ありら とるてを

たい受お えのけき ずちいざ とをれり も生たた なきまま れなわわ ばんんず 死たここ をめはこ 越らゆる えうるの

てもがう わのさち れられに ははぬぞ 主主わ主 とをがは とほか住す もめくみ にたした あたんま らえなわ んずりん

主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、
合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあって
死んだ人々が、まず最初によみがえり、それから生き残っている
わたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で
主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。

5

主イエス^い生きたもう 何者^{なにもの}もイエスの
 愛^{みて}の御手より われ^{うば}を奪いえず。
 信仰^{ひかり}の光 主はわれにぞあり。

6

死^{きわ}の際にあり 「主はわが確信^{かくしん}」と
 わが魂^{たま}が主に 語^{かた}らば主イエスは
 またき慰め^{なぐさ}を われに賜^{たま}わらん！

7

主なるイエスこそ ここに生きたもう。
 ただわれ^{おそ}恐る 主^{まえ}の前にわれが
 先^{さきだ}立つ思^{おも}いを めぐらすことをば。

8

われは望^{のぞ}みの 綱^{つな}によりて主に
 結^{むす}ばれてあり わが信仰の手
 主は嘉^よみしわれを 受^うけ入れたまわん。

9

地上^{ちじょう}のもろき 身体^{からだ}は朽^くつれど
 朽^{れい}ちざる霊の 優^{まさ}れる身体に
 われはよみがえり 天上^{てんじょう}にて生きん。

10

喜び^{よろこ}おどれ 慰めを受けよ！
 主はその民^{たみ}を 迎^{むか}えに來^きたもう→
 終^{おわ}りのラッパの 鳴^なり響^{ひび}くうちに。